

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	小谷博光
学位の種類	博士（学術）
学位記番号	都市博甲第2032号
学位授与年月日	2018年12月31日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
学位論文題目	パラグアイにおける農業・生活改善普及事業をめぐるせめぎ合い—開発アクターとジェンダー主流化に着目して—
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 藤掛洋子 横浜国立大学 教授 大門正克 横浜国立大学 教授 山崎圭一 横浜国立大学 教授 齊藤麻人 横浜国立大学 教授 松本尚之

論文及び審査結果の要旨

本論文は、ジェンダー格差の大きな南米パラグアイ共和国農村部において、国際機関が目指すジェンダー主流化政策が有効であるのかについて、プリンシパル＝エージェント理論を用い、異なるレベルの現地行政職員の調整過程（「せめぎあい」）を実証的に検証したものである。研究対象は、農業改良普及員（農改）と、生活改善普及員（生改）、マイクロ・マクロ・メゾに位置する政府関係者の27名である。

第1章では、援助概念と農業・生活改善普及事業を説明している。

第2章では、ラテン・アメリカ地域とパラグアイにおける農村地域の歴史的文化的背景とジェンダーを説明し、本研究の位置づけを示している。

第3章では、開発援助の最上位に位置する国連およびドナー国政府機関がもたらすジェンダー主流化について概要をまとめている。

第4章では、パラグアイにおける政策立案の概要についてまとめている。

第5章では、農牧省農業普及局内の混乱についてまとめ、

第6章では、下位の開発アクターである両普及員の視点から分析している。

第7章では、複層に重なる開発援助に関連した組織間のひずみについて考察している。

第8章では、結論を以下の通り述べている。

国際機関が主導したジェンダー主流化政策は、階層の異なるアクター間において情報の非対称性が認められ、現場が混乱し、エージェンシー・スラックが発生していた。また、開発援助政策とセットで持ち込まれたジェンダー主流化政策やジェンダー平等の概念は、現場レベルで異なる解釈として持ち込まれ、ジェンダー主流化政策が有効に機能していなかった。Cornwall and Whitehead (2004) は、ジェンダー主流化が促進される程、効果的なジェンダー平等を見出せなくなってしまうと指摘したが、本論文は、これまでのアクターアプローチの視座に加え、複層に重なり合う組織に属する開発アクターという視点を加えジェンダー課題を分析した点が特徴である。

また、農業改良普及員にかかる社会科学的な研究は極めて少ない。本研究は既存研究で不足する農業改良普及事業や農改の声を拾い上げた点においても貴重な歴史資料になる。

以上から、博士（学術）の学位論文として価値があると認められ、審査員全員一致して合格と判定した。

提出された論文に対し、iThenticateにより既往文献との重複の有無を確認した。専門用語や一般的な事項の定義、参考文献の表題を除いて既往文献との重複はなく、剽窃、盗用の不正行為はないことを確認した。

平成30年11月8日16時15分より、審査委員全員が出席し、建築学棟8階南北スタジオにおいて公聴会を開催した。はじめの60分間は学位論文の発表が行われ、残りの40分間は

各審査委員より口頭試問を行うとともに、フロアとの質疑応答が行われた。最後に、スペイン語による調査・分析能力の確認・スペイン語と英語による口頭発表他の確認が行われ、外国語により調査・研究を遂行する能力が確認された。

同日、18時10分より建築学棟小スタジオにおいて学位論文審査委員会を開催した。発表者は質疑にも的確に応答していた点、本論文は学位論文に相応しい内容を有しているという点の確認を行うとともに、審査委員より最終判定をした結果、全員一致で合格と判定した。外国語については、スペイン語と英語による調査・分析能力に加え、口頭発表の実績があることから、十分なスペイン語と英語力を有していると判定した。加えて少数言語であるグアラニー語も解することを確認した。なお、修了に必要な単位は取得済みである。

外国語（英語）を確認する対外発表論文として以下を確認した。

Odani, Hiromitsu, 2016, Identification of terpenoids volatilized from *Thymus vulgaris* L. by heat treatment and their in vitro antimicrobial activity, *Physiological and Molecular Plant Pathology*, vol.94, pp. 83-89. 他英語論文3点（含む共著）、英語口頭発表1点

外国語（西語・グアラニー語）

2007年～2009年：国際協力機構青年海外協力隊パラグアイ派遣

2013年～2014年：エクアドル共和国マチャラ工科大学農畜水産学部客員講師

2014年～2015年：国連ボランティアエクアドル国連開発計画派遣

他スペイン語圏ならびにグアラニー語地域における数多くのフィールド調査の実施

以上より、当該学生は開発人類学の分野において博士（学術）の学位を得るにふさわしい学識を有するものと認められるため、審査委員会として最終試験に合格であると判定した。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。